

令和元年10月25日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

令和元年度 沖縄地域におけるリデュース・リユース ・リサイクル推進功労者等表彰について

沖縄地方建設副産物対策連絡協議会は、平成30年度において、沖縄地域における優れたリサイクル推進活動を行った団体として、次の団体をリデュース・リユース・リサイクル推進協議会に推薦したところ、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞いたしました。

○ 有限会社 ナカムラ造園土木

この表彰制度は、循環型社会の形成推進を図ることを目的として、他の模範となる取組を行っている団体等を表彰するもので、平成4年度より実施しています。

1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰について
・別紙1参照
2. リデュース・リユース・リサイクル推進協議会について
・別紙2参照
3. リサイクルの概要について
・別紙3参照

問い合わせ先

沖縄地方建設副産物対策連絡
協議会

事務局：内閣府沖縄総合事務局
開発建設部技術管理課

担当者：上原、新城

TEL：098-866-1904

FAX：098-861-9914

・令和元年度沖縄地域におけるリデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰について

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰は、リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）（以下「3R」といいます）に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている者を表彰することによりこれらの活動を奨励し、もって循環型社会の形成推進を図ることを目的として、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会が平成4年度より実施しています。

表彰式は、

日時：2019年10月29日（火）14：00～

場所：東京都千代田区大手町1-4-1

瑞宝の間（KKR ホテル東京 10階）

で行われます。

・概要

1. 賞の種類

（1） 内閣総理大臣賞

（2） 関係府省大臣賞

・ 財 務 大 臣 賞

・ 文 部 科 学 大 臣 賞

・ 厚 生 労 働 大 臣 賞

・ 農 林 水 産 大 臣 賞

・ 経 済 産 業 大 臣 賞

・ 国 土 交 通 大 臣 賞

・ 環 境 大 臣 賞

（3） 会 長 賞

・ リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞

<添付資料>

1. リサイクル推進功労者の審査体制 (別紙4)

2. 表彰の評価内容及び募集から表彰までの流れ (別紙5)

・リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

（会長 細田 衛士 中部大学経営情報学部 教授 会員数 68 団体）

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会（略称：3R 推進協議会）の前身である「リサイクル推進協議会」は、リサイクル社会の構築を目指し、行政・消費者・産業界等が緊密な連携のもとに広範なリサイクル国民運動を展開するための相互連絡等を行う場として、平成 3 年 9 月に設立されました。

平成 14 年 6 月に、我が国の深刻な廃棄物問題を解決するためには従来の 1R（リサイクル）の推進から、3R（リデュース＝廃棄物の発生抑制、リユース＝再使用、リサイクル＝再資源化）の推進による循環型社会の構築が必要であるとの認識を踏まえ、名称を「リデュース・リユース・リサイクル推進協議会」に改称し、3R 推進のための広範な国民運動を展開しています。

・リサイクルの概要

＜羽地ダム管理におけるサンダンカの有効利用＞

羽地ダムには、治水、利水及び流水の正常な機能の維持の他、来訪者がゆったりと余暇を過ごすことができる空間の提供という面がある。その中で、ダムの植栽の管理も大事な仕事となる。

植栽の管理において、通常であれば、焼却処分する剪定廃棄物を地元小学校に配布することにより、有効活用した。

取扱い実績

品目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ジャワサンダンカ ハイビスカス ベンガルヤブササユリ	600 本	300 本	200 本

(1) 取組のポイント、特長

廃棄予定の剪定枝を挿し木し、有効活用したところ。



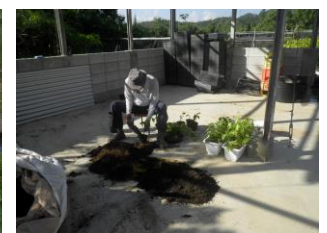
剪定作業



挿し木状



挿し木状



発根後
ポットへ鉢上げ（植付）状況

(2) 工夫したところ

通常であれば、焼却処分するところを、羽地ダムだけでなく、金武町立中川小学校、宜野座村立漢那小学校他 2 校へも配布しました。



無料配布状況

(3) 今後の予定

今後も、地元小学校と調整の上、挿し木等により、配布等を計画する予定。

・リサイクル推進功労者の審査体制

リサイクル推進功労者等表彰審査委員会委員

平成31年（2019年）度
 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
 審査委員会委員名簿（予定）

（敬称略）

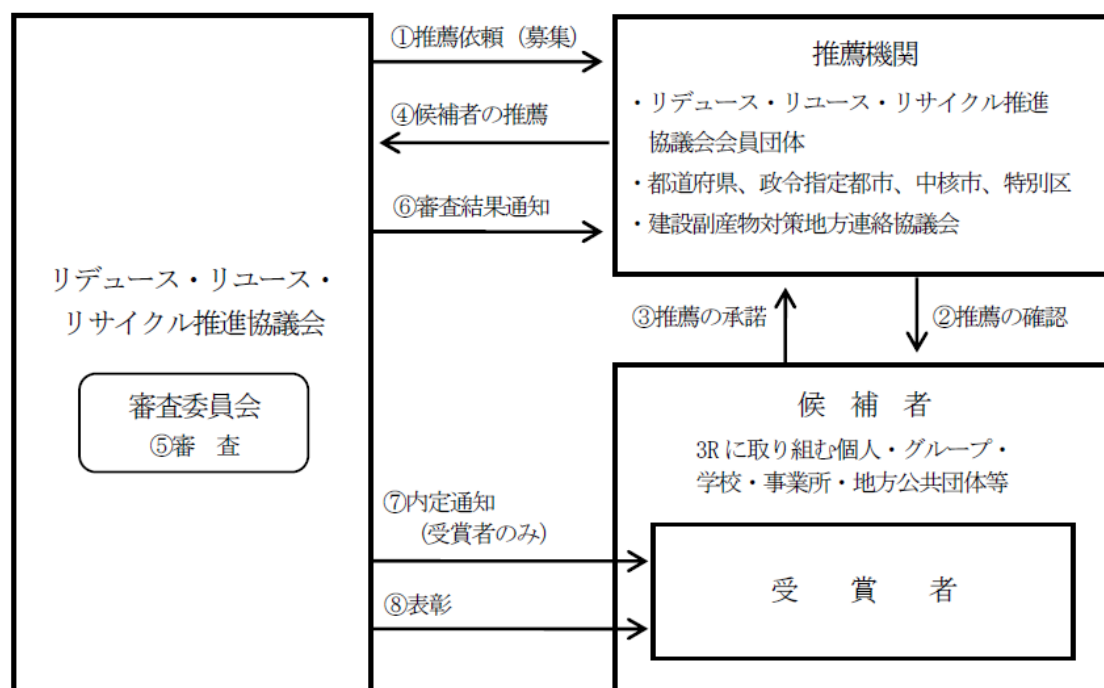
氏名	所属機関
木 村 文 彦	東京大学名誉教授
大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 代表理事・副会長
角 田 禮 子	主婦連合会 参与
小 澤 紀美子	東京学芸大学名誉教授
斎 藤 正 一	日経BP社 日経ESG経営フォーラム事務局長
細 田 衛 士	慶應義塾大学 経済学部教授
森 挙 一	日本商工会議所 産業政策第二部 課長
吉 井 浩	国 税 庁 長官官房審議官
清 水 明	文部科学省 総合教育政策局長
迫 井 正 深	厚生労働省 大臣官房審議官
新 井 ゆたか	農林水産省 食料産業局長
飯 田 祐 二	経済産業省 産業技術環境局長
栗 田 卓 也	国土交通省 総合政策局長
山 本 昌 宏	環 境 省 環境再生・資源循環局長

・表彰の評価内容

評価にあたっては、次の評価事項等により表彰選定が行われています。

- ①リサイクル推進のための実践活動において、その継続性、回収品目等による社会的貢献度が高く評価される者。
- ②リサイクル活動の範囲、頻度等が広範・多様であって、地域社会への貢献度が高く評価される者。
- ③リサイクル活動の独創性、先鞭性等について特徴を有し、その推進に貢献度が高いと評価される者。
- ④リサイクルの推進において啓発普及、指導・教育等に高く評価される者。
- ⑤その他、リサイクルを推進するうえで特に評価される者。

・募集から表彰までの流れ



[募集から表彰までの流れ]